

広報カメラサポーター(後列左から)似内晶子さん、幅下佳子さん、(前列左から)菅原竜三さん、菊池賢さん



## 広報カメラサポーター決定!

身近なさまざまな行事を取材し、写真の撮影や原稿執筆など、広報づくりに参加していただく広報カメラサポーターが決まり、6月26日、第1回目の会議が市役所本庁で開かれました。各地域から1人ずつ選ばれた広報カメラサポーターの皆さん。来年3月までの8カ月間、地域の身近な話題や、日ごろ感じていることなどを、市民の視点から紹介していきます。

サポーターの皆さんは、今月より取材活動中。広報はなまき8月15日号からこのコーナーで記事を掲載します。皆さん、どうぞお楽しみに。

▶木造平屋建て、床面積767.09平方メートルの園舎。これからたくさん園児の笑顔を迎えます



## 大迫保育園が統合・完成

市立大迫保育園の開園式と落成式は6月28日、同保育園で行われ、地域の子どもを大きくむかひ点となる保育園の完成を祝いました。正面玄関前で、園児を代表して石川森令樹さんと佐々木夏ちゃんが開係者と一緒にご挨拶。落成式では園児たちも遊戯を披露し、参加者全員で新市として初めての施設の完成を喜びました。

大迫保育園は、旧大迫保育園と旧外川目保育園が老朽化したことから、両保育園の統合施設として建設。7月1日に開園しました。真新しい木の香り漂う園内で、子どもたちは元気いっぱい過ごしています。



▶子どもたちも一緒にテープカット



▶園児たちが力いっぱい遊戯。完成を祝いました



くす玉割り、記念品贈呈を行い、出席者全員で150万人達成を祝いました(左から3番目が福盛田さん)

## なはんプラザ、入館者150万人達成

6月24日、なはんプラザの入館者が平成4年8月の開館以来150万人を突破し、同館で記念式典が行われました。

150万人目になったのは、家族で写真展に訪れた市内在住の福盛田弘弘さん。記念品を贈られ、突然のことには驚きながらも喜びに笑顔を見せていました。

同館は、各種講座や会議などの会場として利用されるほか、文化会館などで開催される公演チケットのプレイガイドとして多くの方に利用されています。新たなスタートを切った「なはんプラザ」。皆さんのご利用をお待ちしています。

「初めてのお琴に一生懸命取り組む皆さん。難しいけど面白いです。」



## 日本語もマスターした?

6月10日から24日まで、米国ウイスコンシン州クリントン市の中学生9人が、さらに6月14日から21日まで、米国立イリノイ州立大学附属高校の生徒10人が本市を訪れ、東和地域の家庭にホームステイしました。

滞在中、生徒たちは学校訪問や授業参加、企業見学、茶道・座禅体験などを通して、日本の生活文化・教育を直接体験。文化や習慣の違いを肌で理解していました。また、地域住民とも、和食づくりやさき織り体験などで交流し、友好親善を深めました。

## 石鳥谷 地域スポット

ここで遊ぼう!

## 杜氏の里パークゴルフ場

道の駅「石鳥谷」内にある南部杜氏の里公園。その一角にある「杜氏の里パークゴルフ場」は、だれでもパークゴルフを気軽に楽しめる人気の場所です。

皆さんも家族や仲間と一緒に、パークゴルフでさわやかな汗を流してみませんか。

▶期間 10月11日(水)まで  
▶利用時間 午前10時～午後4時

最終受け付けは午後3時

▶利用料 無料(用具も無料で貸し出します)

詳しくは、スタートハウス(☎45-4250)、南部杜氏伝承館(☎45-6880)、または石鳥谷総合支所産業課(☎45-2111内線236)へ。



「意外と難しい。楽しみながらも、つつい真剣になってしまいます」

## 夏の風物詩 石鳥谷夢まつり

8月13日、真夏の夜を彩る音と光のページェント「第18回石鳥谷夢まつり」が開催されます。「石鳥谷夢まつり」は、「子どもたちに花火を見せたい」という、地元の皆さんの思いから始まったもの。地元の商工・観光団体などが中心となり、すべてが手作りで行われています。

当日は、花火の打ち上げのほか、浴衣写真の無料撮影(先着100名)や、屋台コーナーなど、楽しいイベントが盛りだくさんです。

皆さんも、夜空に咲く大輪を見ながら、楽しい一夜を過ごしませんか。

▶日時 8月13日(日)午後5時から  
雨天の場合は、8月15日(火)に延期

▶場所 大正橋公園(北上川 大正橋上流)  
詳しくは、石鳥谷夢まつり実行団体協議会(☎45-4488)、または石鳥谷総合支所産業課(☎45-2111内線236)へ。



夜空に打ち上げられる花火は、見る人に夢と感動を与えてくれます